

12月 冬休み前後に気をつけておきたいこと

冬休み前後に気をつけたいのが、子どもの心境の変化です。

とくに「年明け」は心境変化が起きやすいものです。不登校の子も、新年早々は、「学校へ行く」と言い出し、楽しそうに登校を始めることもあります。いいことであるのですが、すぐに登校をやめることも多く、これを私は「新学期ハイ」と呼んでいます。こうした動きは支える保護者や教員も精神的に揺さぶられます。そこでお伝えしたいことがあります。

子どもはウソをつけません。

へたなウソはつきます。でもそれは見破られてしまうようなウソです。不登校の子が口にする「学校へ行ってみようかな」「今度は楽しめそう」「行ったらつらいだけかな」「行かないで家に居たい」などの言葉は、どれも本音です。言っていることが矛盾していても、自分にはできないことでも、それは矛盾した気持ちを抱えているだけなのです。ウソをついているわけではありません。

周囲は、「どの気持ちが本音なのだろう」とジャッジしたがりますが、そのままの気持ちを受け止める「キャッチ」が必要だと言われています。

冬休み前後は「ジャッジ」ではなく「キャッチ」を、これがポイントです。

次回のテーマは「心得ておきたい雑談のコツ」を予定しております。ご期待ください。